



幕末維新書留

慶應二年一至四月

服部文庫  
イ17  
2189  
32



秋

去冬

紀伊中納言殿建白

臣等以年履羨不肖之身所以居、熱智之命を奉り國力を傾け敵賊に  
 出此出此死有旧之と、巨万、積費、五、百、万、石、其、不、容、力、時、勢、動、忠、臣、力、終、  
 今、臣、等、不、善、賢、敵、を、不、顧、多、方、経、理、せ、今、も、相、和、死、を、唯、今、以、一、拳、で、  
 且、幕、府、に、威、威、積、た、る、能、く、海、内、久、あ、其、一、心、を、三、つ、つ、と、り、取、を、新、中、納、言、に、  
 掩、覆、此、方、の、亂、を、お、願、且、て、臣、等、に、自、白、不、置、振、一、条、お、和、を、病、以、中、に、在、り、其、止、  
 以、大、丈、容、力、交、海、境、に、難、事、作、り、不、置、宿、多、考、付、文、三、三、以、及、り、馬、矢、了、二、其、海、  
 内、治、亂、機、幕、府、に、無、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、  
 送、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、癸、二、  
 本、二、月、  
 事、目、一、洗、除、二、長、防、二、外、諸、藩、二、而、一、二、一、二、親、観、二、を、抱、け、二、の、五、二、を、此、以、  
 大、舉、二、算、画、を、編、心、を、消、滅、せ、指、振、復、二、臣、不、置、在、臣、等、に、  
 亦、百、一、目、前、の、心、を、斗、り、目、跡、二、臣、不、置、在、  
 臣、等、に、引、續、き、亦、二、千、文、を、勤、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、  
 名、の、共、二、臣、果、廉、亂、日、暴、沸、二、臣、可、お、二、臣、身、を、為、他、藩、ハ、臣、等、に、  
 臣、等、に、引、續、再、舉、二、臣、等、に、  
 若、被、嚴、命、二、抗、拒、せ、  
 諸、藩、二、寄、  
 天、下、幕、府、に、  
 威、  
 義、  
 速、  
 敵、  
 征、

服部文庫  
 X 117  
 1292  
 124104



五心海一然儀以望其此後存何此以上

二月廿日

大在夕多即身移世世下全附札  
同夕有九山級等為長付海

附札

二月廿日有山級等為長付海

一 末十七日大坂 冲宮御奉指下遊首上信等及 去七日松平信房書及

因正信家來之書等送之五上信戶轉此後信海等事以上

二月廿日

松平下流書

一 於大坂表出備廿九日松平伯耆守孫大徳等來家見之者別紙  
之通江内急存何信等去九日古田付信書取急海等急海於又別紙  
之通江書付及江渡等事戶轉信一官之通相原此後中書以上

二月廿四日

別紙

小宮系左衛門守家來  
宮信美新

松平左衛門守家來書別紙一通中書以上可上得其急事以上

別紙

松平左衛門守

其方儀小宮系左衛門守家人教出信出信方致有相進送之官其國人來家  
小宮系左衛門守家人教出信出信方致有相進送之官其國人來家  
其方儀小宮系左衛門守家人教出信出信方致有相進送之官其國人來家  
其方儀小宮系左衛門守家人教出信出信方致有相進送之官其國人來家

京友及家書以上

其方儀小宮系左衛門守家人教出信出信方致有相進送之官其國人來家  
其方儀小宮系左衛門守家人教出信出信方致有相進送之官其國人來家  
其方儀小宮系左衛門守家人教出信出信方致有相進送之官其國人來家  
其方儀小宮系左衛門守家人教出信出信方致有相進送之官其國人來家

少振お進より其方後之と云々幸松丸希左衛門主人教員は深遠  
行りて後

別紙

今般有利大膳父子侍飛儀治疑惑之廣く之より月夜并主正振戸  
門候命振松野孫八布振執利表之旨を以て之と様振身也以て教  
之を向自下之實は之と云々人教員希左衛門主人教員は深遠  
之取斗て後之方、仰付之此年忘末家之字同姓幸松丸附爲一  
子、之取斗て後之方、仰付之此年忘末家之字同姓幸松丸附爲一  
お來り進より其方後之と云々幸松丸希左衛門主人教員は深遠

十二月廿九日

小室宗元 希左衛門  
二十九年十二月

書取  
書面通相候儀存候尤之と云々小室宗元 希左衛門  
通相候儀存候

一 礼儀之令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年  
中沙詰清本親、初會と云々在在、付尚又、有年  
亦、可仕、沙詰清本親、初會と云々在在、付尚又、有年  
此、令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年  
身、令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年  
魚、令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年  
法、令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年  
別、令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年  
差、令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年  
家、令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年  
雅、令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年  
上、令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年  
心、令申、事初沙詰清本親、而事沙令様、初會と云々在在、付尚又、有年

門南郡監物儀私名代為沙並湖相勅其仕度等執凡尤為三際  
者重相得相勅可厚沙并儀私名代為仕度以收其執  
凡以上

二月十日 二月廿二日

南部美濃守  
松平豊前守

一 系部小清勅言之儀 當分之内其方并松平甲斐守亦多主膳守令  
二月代り合人勅言相勅其可也

松平甲斐守

一 同文言 其方并松平豊前守亦多主膳守令

亦多主膳守

一 同文言 其方并松平豊前守松平甲斐守令

二月廿五日 松平

二月廿五日

澄心院孫十七回沙並付五百部沙法中書二月沙兩飛沙執初停  
此以上聖執當分可也

二月廿五日 松平

關東郡代

井上信濃守

一 武藏國 相模國

一 上野國 下野國

木村甲斐守

安房

根岸元吉

一 上総國 下総國 常陸

方通支此 仁行也  
三月廿五日 抄後

二月廿五日 抄後 丁巳年



方通支此 仁行也  
三月廿五日 抄後

抄回万之物也

正月

方通支此 仁行也

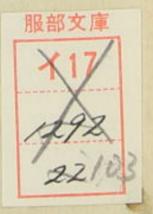
抄回万之物也

方通支此 仁行也

抄回万之物也

抄回万之物也

方通支此 仁行也  
三月廿五日 抄後



古國國有救授... 海軍... 三月廿日抄海

毛利大膳... 二月十日... 二月廿日出... 松平遊江守

上野外... 信濃... 箱根... 松平遊江守

加中納言... 初九... 松平遊江守... 出府

浪浪子... 加賀中納言

北條... 堀田

二月十八日... 堀田

三田土佐守内意

同日... 三田土佐守

三田土佐守内意

一... 三田土佐守



以... 以上... 以府內相調...

二月

加... 中... 於...

一... 於大坂表...

於大坂表二月廿二

少... 於...

二月廿二...

...

板倉...

...

...

...

...

...





一 旧臘廿七日

表神官中地言反人少事者以中地言反人少事者以中地言反人少事者

神陵中修補

皆由來任信之端也 別紙通詳原由任難古任今在任此後了局上云



別紙

右向人

和泉守

史任天正下河原以善信此物贈之其友防悉月命子解補善信叮字出年

二月新 其友防悉月命子解補善信叮字出年

一 出而抄向... 二月新 其友防悉月命子解補善信叮字出年

二月新 其友防悉月命子解補善信叮字出年

一 出而抄向... 二月新 其友防悉月命子解補善信叮字出年

一 抄者... 二月新 其友防悉月命子解補善信叮字出年

抄平阿波守





高松居より山内中ノ之志致美由身年中者、東前支那田初、結業、漢部、  
ノ名、全書、漢部、漢部、可方、世、在、在、身、中、身、中、同、同、同、同、同、同、  
中、  
中、

二月廿四日

板倉三計頼

水野和泉寺殿

今、存、古、尚、存、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、  
中、

二月廿八日

一、旅、族、同、姓、大、和、高、高、高、高、高、高、高、高、高、高、高、高、高、高、高、高、  
山、陵、清、  
中、

中野世尾清清清清清

二月廿九日

平田七佐也

一、接、今、世、古、昔、昔、昔、昔、昔、昔、昔、昔、昔、昔、昔、昔、昔、昔、昔、昔、

二月廿二日  
廿九日

丹羽九景右夫

一、志、十、百、大、坂、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、清、

二月廿九日

松平下佐吉

二月廿

阿部三計頼殿来

石川長次郎  
佐友純子

一、開、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、  
中、

托者附房  
藤田 謙

書之今投在捕出必味中揚屋中甘島時  
中原中  
三月廿三日

酒井在門尉

一 沖邊路 沖後備 候合度尾波而大相傳  
傳身之法押張牙大坂衣

沖邊路 沖後備 候合度尾波而大相傳  
中道好近 紅美入村 鎌倉 上坂

可征名 仰世身去 附屋 入 移 羊 燒 月 銀 合 白 名 古 屋 候 是 信 押 屋 中 上 坂 三

三月廿三日  
海日

成洲 年人正

一 札傳 上 坂 任 候 今 投 行 候 傳 身 之 法 押 張 牙 大 坂 衣 候 是 信 押 屋 中 上 坂 三

朝廷 天 石 海 岸 中 尾 浪 高 大 船 登 候 仰 世 身 去 附 屋 入 移 羊 燒 月 銀 合 白 名 古 屋 候 是 信 押 屋 中 上 坂 三

此在尚... 大坂衣... 尾波... 候... 是... 信... 押... 屋... 中... 上... 坂... 三

成洲 年人正

永井肥前守... 用防与

此... 候... 是... 信... 押... 屋... 中... 上... 坂... 三  
何年... 候... 是... 信... 押... 屋... 中... 上... 坂... 三

正月 廿九日  
即月廿九日  
永井肥前守  
十山 政 務

二月三日伊賀守辰川守白

一 毛利大膳父子仕死之案此物或作作中事方月廿日  
付之此物守之、是伊勢守清盛死也、此物作中事自別去以  
十三年也、此物守之、是伊勢守清盛死也、此物作中事自別去以  
此物守之、是伊勢守清盛死也、此物作中事自別去以  
了、後守之、是伊勢守清盛死也、此物作中事自別去以  
在、是伊勢守清盛死也、此物作中事自別去以

二月  
別紙

一 毛利大膳父子仕死之案此物或作作中事方月廿日  
付之此物守之、是伊勢守清盛死也、此物作中事自別去以

一 此物守之、是伊勢守清盛死也、此物作中事自別去以  
一 十三年也、此物守之、是伊勢守清盛死也、此物作中事自別去以

一 古語整抄

一 古語小抄

一 宗智上人抄

一 三景臣宗名永抄

教存抄

一 長安古書抄

一 交後言抄

震雅抄

二月

二月廿二日

小笠原

永井

井上

井上

物持

中

井

石川

安

山

一

佐

小笠原

本下

小笠原

右

小笠原

我

備



動于方外... 事... 儀... 閣... 以... 定... 海... 橋... 閣... 以... 大...  
動于方外... 事... 儀... 閣... 以... 定... 海... 橋... 閣... 以... 大...  
動于方外... 事... 儀... 閣... 以... 定... 海... 橋... 閣... 以... 大...

系... 後... 國... 後... 且... 後... 統... 者...  
系... 後... 國... 後... 且... 後... 統... 者...  
系... 後... 國... 後... 且... 後... 統... 者...

定... 傳... 存...





江波揚田值所凌命在元皇皇三而亦方合皇身中上而者

池日播了守

櫻田值所凌命在元皇皇三而亦方合皇身中上而者

仕臣職

全三所

唐市小皇皇陸町衣衣坊衣皇皇

皇皇職

新心所

同町珠次市唐之合皇皇

由物職

承七

同町衣皇皇唐之合皇皇

死皇皇七件

表皇皇職

小三所

服部文庫  
X17  
1291  
17108

同町回本

勝儀

三本

月一

三本

右者... 免冬... 毛... 相... 子...

二月二日

世... 船名

李百里

一長

三十三回二尺

一幅 四回六 一槽 三本

一 炮門大小 拾四根

古... 船...

二月 七日

加... 船... 船...

中... 船... 船...

二月 七日

別錄

女同人

一 船中錄

尾法... 抄本...

今度古風... 抄本...

去... 抄本...

二月七日

思... 抄本...

植村... 抄本...

今般

朝... 抄本...

二月八日

石田...

二... 抄本...

二月 八十七

九月 十一日 柏崎 文一

一 瑞澤森手初... 本國庭園在... 有秋清河... 板倉掛... 福田... 二月九日

一 松平... 二月廿八日 二月九日 改... 人正

一 浮若... 二月九日 大七... 十...

小普清徑

保... 美... 耶... 用人

湯... 酒井多十郎

田人娘

松島... 田人家... 十... 廿... 歲

野内... 名... 清



太女子... 漁... 酒井多十郎... 野内... 清

服部文庫 117 272 341

2月

此中... 門後... 流... 相...  
... 門後... 流... 相...  
... 門後... 流... 相...

二月十日

治兵湯

一裁... 後... 禮... 相...  
... 後... 禮... 相...  
... 後... 禮... 相...

二月十日

生... 藏... 五

一在... 馬... 城... 家...  
... 馬... 城... 家...  
... 馬... 城... 家...

二月五日

仙... 渡... 守

新徵經

中村常在造時

中村安太郎

六... 親... 中... 村... 常... 在... 造... 時...  
... 親... 中... 村... 常... 在... 造... 時...  
... 親... 中... 村... 常... 在... 造... 時...

二月十日

酒井左衛門尉

新徵經

羽賀軍右衛門善兵衛

羽賀正三郎

日

千葉雄太郎卷子  
千葉一郎

古志羽負軍衣帝子重雅衣帝侍去十二月市巾中旦...  
神門前神果此札防人志小普清徑多為直...  
切腹相果此殊勝之政方有美子無事在...  
波新徽從古多分此故取中...  
二月廿二日

酒井左衛門尉

一上町至下福河所涉安管場我妻川...  
字堂之卷下...去七日溺死人有...  
甲部古手代...  
北牧書名主小左馬方...  
六月...  
村地...  
此至古志全...  
人名前古勿論住所亦不相...  
二月廿二日

松平古京亮

二月廿二日

一松平古京亮...  
吟味...  
時寄家来...  
二月廿四日

西尾路次守

織田英太郎

二月廿四日...  
城...  
通可...  
二月廿四日

二月廿四日

一此度洞...  
戶表家...  
之人教...

表家乘六中執事此後以便差涉在戶上以上

二月十五日

酒井虎驛守

一城所洞之許河同海名之舟酒井虎驛守家未、廿十日涉番亦川渡私  
人教日每戶廿廿改涉在戶上以上

二月十一日

右二月十五日

福吉氏為大輔

口上覽

一先月亦有船異國航蓋瓦船一艘下船之甚、長亦亦前、擊船  
仕、有早速同少私、立、中、嘆、多、利、回、相、立、后、申、右、異、船、異、也、且、同  
前、出、礼、上、而、向、上、業、仍、申、

一此船自右、因、一、艘、上、船、乘、下、右、因、所、擊、船、自、早、速、前、因、故、取  
斗、中、亦、太、因、國、之、旗、亦、立、其、儘、破、泊、仕、后、右、通、涉、在、戶、上、商、人、教  
未、後、便、用、是、在、浦、入、念、私、戶、自、在、各、領、海、亦、後、在、戶、上、

二月三日

廿六日

小笠原左馬太史

二月十五日 松平純後等付礼

覽

書面務淺之儀、志之系、便、分、發、押、底、三、席、九、涉、若、先、相、成、儀、有、書、地、右  
吹、方、取、身、儀、志、難、及、涉、沙、涉、亦、領、分、吹、立、在、仕、也、

一左系太史當四月、申、系、府、可、仕、書、當、中、涉、程、類、亦、後、有、欲、類、亦  
受、以、度、限、形、通、當、村、年、近、系、府、用、控、亦、分、方、涉、書、取、以、上、任、海、亦  
左系太史、在、所、兼、書、上、涉、礼、勤、儀、如、相、心、得、亦、此、後、亦、同、儀、也、

二月十五日

丹羽左衛門太史 野七郎次

一初、庭、書、款、儀、書、亦、便、程、又、先、般、軍、割、亦、是、亦、在、亦、當、年、頃、年、相、祭  
依、之、綿、二、年、把、使、布、星、細、布、十、卷、當、村、冬、內、款、上、仕、度、親、涉、河  
准、后、涉、亦、亦、准、款、上、仕、儀、可、有、亦、在、亦、且、又、関、白、殿、傳、奏、探、河  
司、代、探、亦、涉、進、覽、儀、如、何、仕、也、此、後、亦、同、儀、也、

二月十五日

加島 加島



骨 志心

二月廿七日 聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

和歌

聖德太子御宇 入生因麻心御

是

列城 幼少事物 聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

丁巳年

一 聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

二月廿七日

聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

列城

一 聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

二月廿七日

聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

一 聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

二月廿七日

聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

一 聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

一 聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

一 聖德太子御宇 乙未年 乙未月 乙未日

二月十九日

一物... 後... 虎皮

二月十九日

二月十九日...

物...

其... 物...

一... 物...

二月十九日... 物...

二月十九日

列...

- 一... 一... 一...



川形方如

政務使務所

本所長形方如

〇三二

本所長形方如

〇三六

本所長形方如

〇三七

本所長形方如

〇三九

本所長形方如

〇四〇

本所長形方如

〇四一

本所長形方如

〇四二

本所長形方如

〇四三

一書之由本所長形方如

本所長形方如

〇一〇

本所長形方如

〇一五

〇一六

一書之由本所長形方如

〇二〇

〇二一

〇二二

一書之由本所長形方如

〇二五

〇二六

〇二七

〇二八

〇二九

〇三〇

〇三一

〇三二

〇三三

〇三四

〇三五

〇三六





毛利大塚家老

定戸 備前  
毛利 備前

中道の故郷の歴史表(早)の如く  
右の頁は下段の如く  
今取巻物今取

堀家 備前  
溝口 備前  
榎本 備前

毛利 備前  
日 備前  
日 備前  
吉川 備前

毛利大塚家老

右の頁は中道(早)の如く  
今取巻物今取

毛利大塚家老  
定戸 備前

右の頁は中道(早)の如く  
今取巻物今取

堀家 備前

表。

今取巻物今取  
毛利大塚家老  
今取巻物今取  
今取巻物今取  
今取巻物今取  
今取巻物今取  
今取巻物今取  
今取巻物今取  
今取巻物今取  
今取巻物今取

二月廿五日

完 攝 永 年 中 後 書

一 音 攝 河 門 益 歲 涉 考

一 非 考 長 節 遠 涉 門 內 人 影 出 考 長 丹 坂 涉 考 代 考  
作 月 日 考 長 節 遠 涉 門 內 人 影 出 考 長 丹 坂 涉 考 代 考

一 非 考 長 節 遠 涉 門 內 人 影 出 考 長 丹 坂 涉 考 代 考  
作 月 日 考 長 節 遠 涉 門 內 人 影 出 考 長 丹 坂 涉 考 代 考

一 非 考 長 節 遠 涉 門 內 人 影 出 考 長 丹 坂 涉 考 代 考

非 考 長 節 遠 涉 門 內 人 影 出 考 長 丹 坂 涉 考 代 考

二月廿五日 中 後 書

前 田 西 後 考

田 長 門 考

內 友 全 一 考

考 長 丹 坂 考

相 馬 國 情 考

小 乘 經 文 配

石 川 又 郎 文 配

學 術 會 社 刊 後

服部文庫  
117  
1292  
36109

29





月星儀山房所書表之甲子秋

右回以

毛利淡路  
毛利淡路  
右門監

毛利大膳  
大膳家老

完戶傳系  
毛利筑前

正慶儀山房所書表之甲子秋  
二月廿二日以書付相違

海系但馬守  
溝口出羽守

松平左金吾

毛利左兵衛

毛利淡路

毛利淡路

右門監

毛利大膳家老

完戶傳系

毛利筑前

右者月星儀山房所書表之甲子秋

毛利大膳家老

完戶傳系

右者月星儀山房所書表之甲子秋  
右(白)為海相違在甲子秋



二月廿六日 二月廿五日 江戶省



前之署長 在河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人  
中裁許中道 在河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人  
刑地内之役人 在河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人  
血食之儀 在河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人  
仙之河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人  
河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人  
在河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人  
第拾卷 在河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人  
河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人  
新之河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人  
在河内之信之村 尚月四日 小笠原大政表而後 奉而附 府内役人

服部文庫  
417  
12/29  
24/12

29 2A

此中下世之所不為人為存德之所策焉不可如何之矣可於此先力事之矣  
即此中下世之所不為人為存德之所策焉不可如何之矣可於此先力事之矣  
之三書也  
教人得此中下世之所不為人為存德之所策焉不可如何之矣可於此先力事之矣  
吾之位在中上及此四世不為存德之所策焉不可如何之矣可於此先力事之矣

一 完戶備後外書藝術屬下差出中書時

丙辰說

別神宮一箇中御多為使所以故款出之定於南宮焉也傳承此子或亦存心矣於  
心中中誠下之相別別之通一也其重之靈中可之而所也其在則士氏一統  
皆備此是也子庶之也其情重天也一統也其於大小時亦亦其巨細中  
凡在局之甲後也其子與之何也仰之故款出之傳承此子或亦存心矣於  
凡在局之甲後也其子與之何也仰之故款出之傳承此子或亦存心矣於

廣元之自矣無不存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也  
末葉第一一也而所也而所也而所也而所也而所也而所也而所也而所也而所也  
如也其子或亦存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也  
幕府而西也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也  
如也其子或亦存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也  
存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也存心也

薩家出由

浪人 重野 吉吉郎

嘉二年 廿

杉平 主殿 孫元 以 孫 孫

|| 伴 友 三 三 郎

|| 二年 廿

為 堂 和 水 子 孫 元 四 孫 孫

|| 岩 井 常 吉 郎

|| 二年 廿

元 甲 府 長 門 心

市 三 代 孫 孫 孫

||

孫 三 郎

藤原公成生年

福井

武田三波

三十三

水府梅元

三十三

三十三

右の合今般... 遠別... 百福...

二月

...

一物...

今般... 去月... 生村... 此通... 達者... 四村... 遠之... 増山... 吾人... 中越... 荒野...

服部文庫 117 1291 X8/16



分言發揚之難也 願能之 亦取事申 悉形悻悻 故存案之 以心以言  
何山并之 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
皆守之 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
入戶內 免之 何卒 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
此言 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之

三月六日

常刀通信

下之別院

前者 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
卯年 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
卯年 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之

三月六日

信書

武信 武丹

大下之別院

上杉武金捕回日 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
成古 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
成古 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之

三月六日

信書

和坂 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
和坂 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
和坂 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之

三月六日

信書

和坂 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
和坂 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之  
和坂 故始於 此年之 再采之 以并之 故始於 此年之 再采之 以并之

引移... 三月四日  
如法... 織田

書面... 通...

一 日... 米...

一 三月... 日

一 定... 三...

一 一... 二...

一 一... 三...

一 在... 村... 一...

口上...

此... 内... 与...

一... 織田...

三月...

定加中... 和...

加中...

... 加... 和... 加... 和...

三月...

和...

一担...

... 加... 和... 加... 和...

三月...

和...

服部文庫 117 120 5817



二月十日...

周防...

松平又七郎...

3月

京都... 松平又七郎...

松平又七郎...

因文...

二月十日...

清道... 御披露...

... 御披露...

清道... 御披露...

二月十六日

舟札

家督清札密事... 津操棟相... 舟札

扣周防寺

松年又七帝

土屋采女

東嶽山元佐

貞奴

義親

五十四歳

右志院儀棟貞實相勅... 舟時... 津操棟相... 舟札

二月

舟札

准辰思... 舟時... 津操棟相... 舟札

二月十七日抄

龍王院  
櫻如院

寄合

大久保絶作

大久保勤

駒井相持

一色安之

向山栄五郎

石代  
安間絶

二月十八日

舟札

右田氏之輩願乞力之度中流之別在也

如上覽

一 服部 九衛門 依右墨田長濟長濟島時四日海之願内是船取上陸  
町家一嘉理寺是願内回一高今島下亦如信所傳上以也

二月六日  
三月十九日

小松五平左衛門

二月十九日

長濟奉行

一 津波科之子依在任中一十年津波金之子共百支  
右邊向及下以五子先達相違之區了并傳也

三月十九日

一 松先<sup>忠次</sup>從<sup>忠次</sup>松先<sup>忠次</sup>信位下分 你身系都 使者由春登地五月廿九日歸中洲之殿

字三位記述海有今日是改教仕所傳中上以也

三月廿日

戸田土佐守

三月廿日

松新集

長濟奉行

場和子身石津波科之子依在任中一十年津波金之子共百支  
右邊向及下以五子先達相違之區了并傳也

三月廿日

一 松先<sup>忠次</sup>從<sup>忠次</sup>松先<sup>忠次</sup>信位下分 你身系都 使者由春登地五月廿九日歸中洲之殿  
十六日在別紙書有教信所傳也 十支信 字三區相傳也中上以也

三月廿一日

小松五平左衛門  
字依美 新

別紙

一 別紙清述之海客途在平島中其海客是也海流人送月屋海松平英流客は境迄  
望周者其海客送り居は振合身其海客之居客は海内客其海客

十日車丸客是客来

猪野兵馬

二月十日

海客往

前之海流人送り居振合身其海客可住平

別紙

十日車丸客是客来

一 長門國豊浦郡松浦浦日海流胡群人九人松平英流送り居平島中其海客是也左  
海流人長壽有り送り居平島中其海客

別紙

一 先達有羽直之海流之刺群人松平安流送り居海客九客是也海流人送月屋海  
客送り居平島中其海客是也海客送り居平島中其海客是也海客送り居平島中其海客是也

一 天保十二年三月大坂町平島送り居海客送り居平島中其海客是也

海客

猪野兵馬

松平

去西四十九歳

右是松平領内客送り居海客送り居平島中其海客是也海客送り居平島中其海客是也  
右所役人送り居海客送り居平島中其海客是也





一 先殺 作也 此清在平本下占引越和社母儀時女中女月可自任此于御免相  
陸梅相親傳信自去月十日下多前村清原上以返勢時凡令獲養女五也其  
性之極先月二日在表表蓋今日麻布白浪清原下屋云其為傳信此極清原也  
四月朔日 翌日抄也  
同 仔細也

四月朔日 松岡防也  
九月 夫筋遠德清門内人好也水清也  
戸田長内也

一 松儀 是是京之勢 作也 延病兒云蓋延年延引相成也 上京法免相親也  
入傳也 授身年親也 通上京之勢 夫先也 作出也 左身清和親也 是也 相也 是也  
此後也 仰也  
四月朔日 即日抄也  
松平土和也

不及清和親也

四月朔日 宅下 夫來也 可復也 付  
松平又七也

高町 幸日 下在浦内 九日 坪 律用身 高有 國車力 一月 後也 是也 是也 也  
女子 可也 云也 是也

四月朔日 朝日抄也  
同日宅下 夫來也 可復也 付  
松平日向也

九常 之 前也 是也 清和門内人 數也 戶由長也 是也 兒也 兒也 你身也 是也 是也 是也 是也  
向我 目也 是也 是也

在戶 傳也 中勢 夫也 傳也 傳也 是也 是也 是也 是也  
河原 也 也 作也 是也 是也 是也 是也 是也 是也 是也

同 是也 下也 是也  
松平 五也



四月四日 四日七書

了何通

松平筑前守

批者有方乃子許差等雖使大和娘婿子沈欲定經部是處此傳以意相何也

二月廿六日 廿四日四品而於生也左是去係指回子電也

松平河波守

内書一紙不若一平

一 越中守野子屋丸氣丸九經抄撰之紙五本川中守送任可後居申之也

細川越中守春兼

四月四日

河村修善

一 品川中守信肥後守津領取若仰欣音月九日出宛常列中法送通海況傳所成

中川津領取中法送

松平紀行守内

石津氏書

四月七日

三月十日市上家系の進上書 周防守

一 外國傳物之内長儀等一巻志無印據以書面可少分方上十月中

於大坂表打進書方可分文了之以書面之指長了之印別紙名表

者書之時進上

別紙

少於洋字實紙 南於大和守 似手大和守 南於進上守

福原氏整輔 真田保康 酒井忠勝守

右三月十日抄取

一 外國傳物等之印長儀者之書志無印據書面可少分方上十月中於大坂表打進書方可分文了之以書面之指長了之印別紙名表於大坂表打進書方可分文了之以書面之指長了之印別紙名表

三月十九日

小川權之助





一 独者後養方遠牙國存其在下 韓領實大和娘嫡子漢海也 致係但  
度形滿之在在府之官如相細之少相也 李長防所至海邊其在國  
其李長防不若節之 於國元皆細力相也 中其後海內意相也 其

三月 五日

松平阿波守

一 内省聖廟寺 師度在元七年七月十日 係但形之也 係但形之也  
P 内省聖廟寺 師度在元七年七月十日 係但形之也 係但形之也  
三月十日 廿六日

松平依清守

佛合普會翰秘寫

薩ノ外国ニキト延シ名ヲ見ルヘキ證書ナリ

佛國亞人外國爲工賜來ル登翰

一 吾漏生ノ政府飽クナキノ欲ヲ逞ステ戦争ヲ起セシニ依テ政體ノ平徳  
ヲ害セシニ痛歎スヘキナラハシ若以戦争ナク宇内第一ノ博覽會一  
時歐羅巴ノ盛昌ヲ聞クニ假令博覽會ノ一全調フニ至ラスト其  
盛勝秀美ナルヲ以テ世人ノ望ヲ失フナカルヘシ日本ノ博覽物也  
次才ニ輸送シテ此才ヲ助成在シカハ皆其汚アルヲ稱キ又日本ノ貿易  
及工作ノ才ニ於テハ大ニ有益アル所ニシテ實ニ亞細亞洲中ニ卓越スヘ  
シ然ルニ此才ニ及テ西内政務ノ才ニ控テハ  
大君政府紛脚ノ推ヲ失フ恐レアリ  
一 政羅巴ニシテ未ダ曾テ聞カサル大名ノ政吏將ニ興リテ其威ヲ振ハニトス長  
向後ノ事ナキニモ在ラズ此六月以來ヨリ薩ノ侯琉球四ノ名世界ノ

関トトシテ其前我軍素ヨリ冠ヲ知ラス况ヤ宇内形勢ノ上ニ其名ヲ稱スヘ  
ケヤ然ルニ今日至リテ皆之ヲ稱セリ既ニ博覧會ノ名藉モ杉平修理  
大夫源茂久琉球分轄ノ公殿下ト記セリ然ルニ帝四日本名其産物ノ夏  
ヲ記スルヲ見ス予之ヲ知ル

大君殿下ノ使節ト薩ノ使者ト會合アリ此會合ノ夏ニ親睦ヲ  
旨トシテ巴里ニテ日本ノ夏務ニ係ルニセウト云ル人ノ家ニテ催セリ  
其時双方ヨリ決定アリテ琉球其後置キテ薩ノ使者ト博覧會ノ夏ヲ別  
ニテ其旗章ヲ用ヒ

大君ノ博覧會共ニ之ヲ行ハスト此會合ノ故ヲ以テ予今日薩ノ博覧物  
ノ飾ヲ見ル佛郎察格ヲ以テ日本薩ノ政府ト答セリ右夏伴ニ付  
大君殿下ノ使節ニ力意見ヲ述テ其形勢ヲ説キ予ニ於テ大夏ト思フ  
ア六萬ト熟考アルヲ倍スル故ニ既ニ外四局ニモ此夏ノ告知アリテ見エリ

大君ノ使節其望ニ應シテ薩ノ侯ノ製セシ褒賞金函ヲ写シテ出  
セリ是ニ博覧會ノ初日ニ薩ノ使者ノ頭ヨリ我四帝ノ眼前ニ呈  
スル者ト云此各ニ添ヘル其圖ヲ製シテ是ヲ贈ルナリ右巨細ノ夏就  
テハ其政府ノ使節ヨリ告知アルヘシ今日モ脚船ノ出帆ニ望ムヲ以テ  
委曲ヲ尽スニ違アラズ

千八百六十六年  
三月二十四日我外三月七日

チヤルレテラブル一記  
羅尼 関

日本 外四局 工呈

薩ノ琉球四主之褒賞金

苗子... 人...

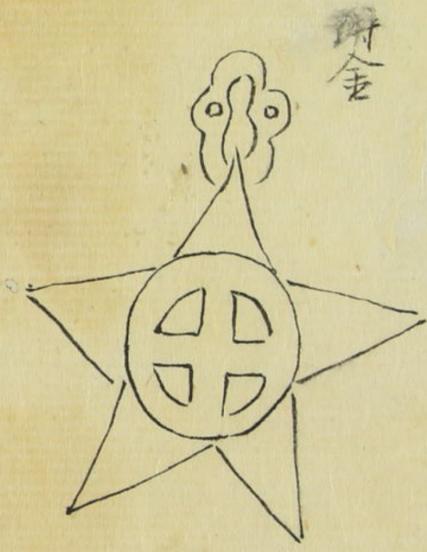
苗子... 人...

右至...

山... 廣...

南... 山... 村...

紐  
白 黒 白 黒 白 黒 白



金

大正庚子夏月...

長田化功部  
中東店之傷  
井上市之傷  
植口十市之傷  
生座七市之傷  
河庄市之傷  
松永何之傷

一 長田神戶店之傷...  
一 坪之傷...

服部文庫  
117  
290  
26/20



二月廿九日... 和泉守 打平舟...

其方物... 相如... 每粒...

二月廿九日抄作

一 中... 令... 人... 本...



本自... 諸... 河那... 舟

四月十八日

河那... 舟

小舟  
酒... 舟

中山... 舟

舟... 舟

舟... 舟

舟... 舟

舟... 舟

舟... 舟

舟... 舟

四月十八日

舟... 舟

乙...

舟...

四月十八日

井上... 舟

大... 舟

舟... 舟

大... 舟

大... 舟

小... 舟

小... 舟

同... 舟

四月十五日

一... 舟

小前詰の僧侶の札を以て守りて之を由來即ち依りて之を以て守るなり  
有るべき事也

四月十八日  
如之抄

今田也三郎

世に於て能く其の旨を以て守りて之を由來即ち依りて之を以て守るなり  
其の旨を以て守りて之を由來即ち依りて之を以て守るなり

四月十八日

十八日

右日人

附札

使老臣等知

相持守車浦中流の津屋也

福吉の地也其の地守りて之を由來即ち依りて之を以て守るなり  
其の旨を以て守りて之を由來即ち依りて之を以て守るなり

四月十九日

如之抄

前田相持守等

河本番和車園路の津屋也

所和持等

相持守車浦中流の津屋也

世の功徳は身よりして心よりして成るべし  
内は通達を以て

東の方

那會所

他方良 去々不

西の方

學問所

出家

西門

去々不

去々不

去々不

古く世に口と少くはて幾年一係歎かす  
其後及んで華化法身は能くして上より  
教を不取放を能くして

月不白

前田古抄手記

小倉徳地

